

平成28年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

施設名	大和市下草柳児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター下草柳会館管理運営委員会 会長 齋藤 俊衛
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

- ・児童館施設の承認に関する業務

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均 (人)	開館日数
下草柳	111	5,123	638	376	6,248	20	308

- ・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで（月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く）職員1名以上の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・自主事業の計画及び実施（主な事業）

事業名	開催期間	参加者数
新1年生を迎える会	4/13	27人
母の日プレゼント作り（帆布ポーチにイラスト・カード）	4/26～29	34人
父の日のプレゼント作り（フォトフレーム・カード）	6/14～17	49人
七夕の集い（七夕の話・スライム作り他）	7/2	38人
安全安心こども映画会	7/26	250人
卓球教室（柳橋体育振興委員による指導）	8/6・13	20人
なつまつり（ヨーヨーつり・白色プラバン工作他）	8/24	47人
お月見だんご作り	9/10	25人
敬老の日プレゼント（フェルトマグネット・カード）	9/13～16	36人
ハロウィンパーティー（ハロウィンのお話・ゲーム他）	10/29	87人
中央地区ふれあい広場	11/20	200人
クリスマス工作（安全ピンとビーズのクリスマスツリー）	12/6～9	38人
お楽しみ会（子供部会主催・ゲーム・工作他）	1/21	142人
お楽しみ工作（キラキラシール貼りのマグネット作り）	2/14～17	20人
スイーツ作り（ロールケーキにトッピング）	3/4	14人

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,514,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,374,000
雑入 (預金利息等)	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	139,442
収入計 (①)	2,514,000	支出計 (②)	2,513,442
収支決算	558		

※収支差額 558 円は平成 29 年度特別会計に繰り入れます。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成 29 年 4 月に利用者アンケートを実施し、平成 28 年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

<p>評価の視点 1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の利用事務については、条例等に則り適切に行なわれています。 児童館利用の人数が 2 年連続で前年を超え、前年度比 143.6%と大きく伸びています。成果のあった取組みについて振り返り、更なる発展に活かしてください。 「スタッフの対応」について、利用者アンケートの回答者の 100.0% (前年：97.7%) が「よい」～「ふつう」と回答しており、前年度からの改善の努力の結果が見られ、更に高い水準を維持している点を高く評価します。 イベント告知はカラー紙で目を引くような工夫をし、配布や掲示、児童館ホームページでの定期的な更新で情報公開するなど、利用者が興味を持って事業に参加してもらうよう努めている点を評価します。
<p>評価の視点 2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 自主事業の開催日の選定にあたっては、学校行事等を考慮し日程を調整するなどの工夫を図り、更に館内での案内を早めに行うなど、より多くの児童に参加してもらえるように努力している点について評価します。 自主事業の企画においては、前年に引き続き児童が運営に協力できるよう計画し、異学年交流を含め、様々な体験から積極性や協調性を養えるような取り組みをしている点は高く評価します。 自主事業の企画内容や成果については、児童館指導員連絡会等を通じて積極的に他館へ情報発信することを望みます。また、他の児童館の人気イベントの事例を参考にしながら、児童により多くの体験の機会を与えられるような、企画の広がりを目指します。
<p>評価の視点 3：施設の適切な維持及び管理が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常の清掃が適切に行なわれる等、施設を維持するための取り組みが見られます。また、利用者が片付けしやすいよう棚を増やす等の改善努力が見られる点について評価します。
<p>評価の視点 4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断します。 指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。